

CEL ホームページ

<http://www.og-cel.jp/>

エネルギー・文化研究所 (CEL) の活動内容や  
情報誌「CEL」バックナンバーをご覧になれます。

※CEL ホームページに掲載する「読者アンケート」にご協力願います。

Facebook ページ

<https://www.facebook.com/osakagas.cel>

Volume 124  
March 2020

特集

異なるものをつなぐ

— 混じり合い、創造する場とは

2020 (令和 2) 年 3 月 1 日 発行

発行

大阪ガス(株)

エネルギー・文化研究所 (CEL)

〒541-0046

大阪府大阪市中央区平野町4-1-2

発行人

田中雅人

企画・制作

熊走珠美

編集人

日下部行洋

編集

(株)平凡社

アートディレクション  
& デザイン

okamoto tsuyoshi +

校正

(株)アンデバンダン

印刷・製本

(株)東京印書館

お問い合わせ窓口

大阪ガスビジネスクリエイト(株)

TEL 06-6205-4650

FAX 06-6205-4759

CEL@ogbc.co.jp

Research Institute for Culture, Energy and Life  
©2020 OSAKA GAS CO., LTD

※禁無断転載複写

※本誌掲載の寄稿文、インタビュー、レポートなどの内容は  
必ずしも大阪ガスの見解を示すものではありません。

CELからのメッセージ

## 異なるものをつなぐ魅力

大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所

所長 田中雅人 Tanaka Masato

“Creativity is just connecting things.”

“C” スティーブ・ジョブズの有名な言葉である。iPhoneが商品として世の中に現れた時、世界は驚きの渦にのめられた。しかし、iPhoneのコンポーネントはそれまで存在していた技術の組み合わせであった。つまり、携帯電話、タッチパネル、インターネットはすでに存在したが、それら異なる分野の技術をうまく組み合わせて、ひとつの商品にしたことで、スマホ革命につながるものの誕生になったのである。

世の中には、異なるものがつながって、新しいものが誕生するケースがたくさんある。しかし、異なるものは偶発的にはなかなかつながらない。異なるものがつながるためには、「場」「お節介」「意欲」が必要である。

シリコンバレーはベンチャー企業やクリエイターが集まって、新しいものを作り出す「場」であるし、ビジネスマッチングを図る「お節介」な目利き役がいるし、何よりも、我こそは世の中に新しいものやビジネスを作り出すのだという「意欲」のある若者が集結している。頼もしい限りである。

我々がいるエネルギー業界もまたしかり。かつての閉鎖的な業界に異業種からの参入、つまりエネルギーと異業種の出会いによって、新しい商品やビジネスが生まれてきている。GAF<sup>ガ-ファ</sup>と呼ばれるIT企業がエネルギー業界に進出し、新たなビジネスモデルを模索しているのは、とてつもない脅威であるが、我々はそれを待ち受けてはいけけない。むしろ、彼らよりも先に、我々こそが、アンテナを張り巡らして異分野に触手を伸ばし、新しいものを生み出していかなくてはならない。攻撃は最大の防御である。能動的に、異分野、異文化、異業種との接点の場づくりをし、お節介提案をし、そしてそれらを意欲的につなげていくことで、明るい未来を切り拓いていきたいものである。新時代のエネルギービジネスの模索は、未知への挑戦であり、新しいものを生み出す喜びであり、それこそが、いま我々に求められる使命ではないだろうか。